

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

【川口市立川口高等学校ダンス部】

昭和41年創部の創作ダンスのクラブが、若者に人気のストリートダンスを取り入れ、「たたら祭り」や「はたちの集い」など地域のイベントをはじめ全国のダンス大会にも参加する「川口市立川口高等学校ダンス部」。

振り付け、曲の選択、配置、演出の方法など、すべて生徒が話し合い、試行錯誤を重ねながら、自分たちが決めた目標に突き進む高校生たちを岡村市長が訪問し、ダンスの魅力や部活動の楽しさを聞きました。



市長 みなさんこんにちは、暑い夏をいかがお過ごしでしょうか。熱中症などに気をつけ、この夏をみなさんと一緒に乗り越えたいと思います。今月の市長のふれあい訪問は、川口市立川口高等学校ダンス部のみなさんです。どうぞよろしくお願いします。はじめに、創部はいつになりますか。

渡辺 創部は昭和41年で、ストリートダンスを取り入れた今のカタチになったのは、13年前からです。

市長 クラブの中身が変化したのですね。ストリートダンスとは、どのようなダンスですか。

渡辺 ジャズダンスや、ヒップホップ、ロックなどのジャンルを含めてストリートダンスといえます。クラブではジャズダンスとロックを主体に活動しています。

市長 部員は3年生含めて何人ですか。

小池 現在は102人で、校内では一番多いクラブです。



市長 すごい人気ですね。

野中 ダンス部に入りたいから市立川口高校に入学する“という人もいます。

市長 引退した3年生に伺いますが、このクラブの魅力は何でしょうか。

長江 学年の隔たりがなく、みんなとても仲がいいことです。そうしたクラブの雰囲気は校内や学校説明会でも伝わっていると思います。

市長 3年生は、「日本高校ダンス部選手権」の全国大会に出場し、津軽三味線を使ったダンスを披露して、大変な反響だったと伺いましたが。

吉澤 昨年は、東日本大震災があったので、自分たちのやり方で何かメッセージを伝えられないかと、みんなで考え、東北の津軽三味線と衣装を和風にして日本を元気にするため日本独特

のもので勝負しました。

市長 なるほど、それはいいアイデアですね。踊った感想はどうでしたか。

西科 大会に出ようと決めた時に話し合いもたくさんし、練習ではうまくいかず、結構もめたりもしました。でもみんなで頑張った全国大会に出場できたのはすごく良かったです。

市長 それはいい思い出ですね。今年の大会はいつですか。

渡辺 今年の大会は、予選が8月7日です。

市長 今は練習の真っ最中ですね。

小池 毎日朝から夕方まで練習しています。

市長 疲れませんか。

小池 疲れますが、楽しいので大丈夫です。

市長 楽しいというのは一番いいですね。ところで指導は誰がしているのですか。

野中 卒業した先輩や、部員同士でお互いに教え合い、振り付けも自分たちで考えます。

市長 すごいですね。ところで3年生は引退ですが、クラブ活動を振り返ってどうですか。

長江 充実した時間でした。引退してあらためてクラブの活動の大きさを感じています。

吉澤 今はみんなのことが大好きで、ダンスをやってきて本当によかったです。

西科 振り返るとほとんどの思い出がダンス部でした。楽しい2年間でした。

市長 残り少ない高校生活を、

ぜひエンジョイしてくださいね。それではパトンを受けた2年生から、それぞれ抱負を語ってください。

野中 一人ひとりが主役として、お互いを高め合いながらやっていきたいです。

小池 先輩たちが残してくれた実績に負けないよう、みんなで練習して頑張っていきたいと思います。

渡辺 先輩たちの良さを受け継ぎ、私たちがの新しいダンス部を作っていきたいと思えます。

市長 高校生活は、あつという間の3年間です。人生の先輩として、私も高校生活が一番楽しかったので、本当に悔いのないよう時間を過ごしてほしいと思います。それには、クラブなど一つのことを思い切り集中してやるということがとても良いのだらうと思います。これからもぜひ頑張ってください。どうもありがとうございます。

